

はくがくニュース No.3

2020.12.2 発行
(公財)鳥取市文化財団
博学連携推進プロジェクト
因幡万葉歴史館内
Tel.0857-26-1780

鳥取市立
国府中学校

因幡万葉歴史館で調べ学習 & 実際に現地へ



10月29日、鳥取市立国府中学校1年生が、総合的な学習の授業で万葉歴史館を訪れ、国府町の文化と歴史について調べました。学校外にでかけ、地域の人から学ぶことも今回の学習の目的です。歴史館では、国府ガイドクラブの田中さんと鎌澤学芸員から説明を聞き、熱心に質問していました。

因幡万葉歴史館

事前にグループごとに質問を考えてきていた生徒たちは、館内のレプリカの前などで質問し、解説をノートにメモしました。

※以下生徒の感想から抜粋編集

○お寺の跡や石などがそれぞれできた理由や名前の由来があつておもしろかった。

○大伴家持や国府に関することを見学しているうちに、昔の国庁や国分寺を見てみたいなあと思った。

○大伴家持はあまりえらい人でないと思っていたけど、すごい人だと知った。

○法花寺の礎石を調べている時に地域の方が自分の知っていることを教えてくださいました。国府町には自分の地域を大切に思っ

ている人がいる。

○歴史館では梶山古墳や岡益の石堂について細かいところまで教えてくださいました。古墳の絵はサク説とコイ説があるが、コイ説のほうが日本に深く関わっている気がする。コイ説が正しいと思う。古墳の絵の本物を見たい。

○岡益の石堂は分かることよりも分からないことの方が多いということが印象に残った。

○古墳の壁画の記号にも、△が魚が落としたりうろこであるなど、意味があることがわかった。

○梶山古墳の扉が閉めてあるのは、彩色壁画の色が消えてしまわないためだとわかった。

○国府中学校と万葉歴史館のあるあたりが昔の因幡の中心だったとわかった。

○今回調べたことをたくさんの人に広めて国府町を盛り上げたい。

○万葉歴史館は、ただ展示品を見てもら

うだけでなく歴史や文化を感じてもらうために建てられたことがわかった。

○万葉歴史館は、Daigoのお祖父さんの竹下総理のときに全国の自治体に配られた1億円に17億円を足して、26年前に建てられたことが分かった。

現地学習

歴史館で調べた後、生徒たちはコースごと、大伴家持の歌碑、国庁跡、国分寺・法花寺の礎石や犬塚、岡益の石堂や梶山古墳などを実際に見学に行きました。歴史館の周辺には、史跡や文化財がたくさんあり、館内で得た知識を現地で確認できます。



因幡国庁跡

国府町の文化・歴史に学ぶ

国府中学校 1学年主任 林 憲正

一年生の総合的な学習「国府町調べ」で因幡万葉歴史館を訪れ、ガイドクラブ、学芸員の方からお話を伺いました。生徒たちが考えた質問に、ガイドクラブの方が、「こんな説もある説もある、君たちはどう考えるか？」と問いかけ、場面があり、生徒がしつ

から考え、さらに、学芸員の方が専門的なお話をされ、理解が深まりました。岡益の石堂が「謎の石堂」と呼ばれているように、実際は歴史的遺産について謎なことが多くあり、本当のことは当時の人に聞いてみないと分からないと、ガイドクラブの方が言



石堂のレプリカ前で

先生方へ

今年度のバス借り上げ補助事業は終了しましたが、財団施設は、引き続き、総合的な学習や地域学習、ふるさと学習などの調べ学習のための利用を受け入れています。ガイドや解説などもご要望に応じて行いますので、事前にご予約ください。

E-mail: info-inabamanyou@tbz.or.jp (博学担当)